

寄附講座の研究活動について

平成27年9月30日

公立大学法人福島県立医科大学

第1 趣 旨

寄附講座は、企業等からの寄附金を財源として運営しているため、既存の講座等と比較し、より一層の講座運営の透明性、研究活動の実績や成果が求められています。

このことから、本学においては、研究活動等に係る定例報告や研究活動・成果報告会の開催など、適切な講座運営や研究成果の確保を図るための取組みを推進しています。

(1) 研究活動等に係る定例報告

研究活動（研究達成度の自己評価、今後の方針、学会発表・論文実績等）や会計（支出状況や高額支出の運営管理状況）について、定期的（翌年度の4月）に報告を受け、必要に応じて助言等を行うなど、大学としてのチェック機能を担保することにより、運営管理体制のさらなる可視化と円滑で適切な講座運営を推進しています。

(2) 研究活動・成果報告会

寄附講座の研究活動、成果（論文、特許等）、今後の計画等について、本学教職員・学生、寄附者、関連企業、県内大学関係者等を参集し、年1回（毎年3月頃）報告会を開催しています。

(3) 寄附講座だより

各寄附講座の研究活動・成果について学内外へ周知するため、年1回（毎年3月頃）発行しています。

(4) 寄附講座の研究活動の推進について

寄附講座の研究活動を推進し、より効果的な成果を上げられるよう支援するため、研究活動に係る寄附講座からの定例報告を基礎として、研究推進戦略室において寄附講座アドバイザーをはじめ、寄附者や外部有識者の意見や評価をお聴きし、幅広い視点や知見から研究活動の評価や助言等を行っています。

第2 平成26年度における寄附講座の研究活動について

1 各寄附講座の研究活動について

(1) 各寄附講座の活動状況

寄附講座 (設置期間)	研究テーマ	主な研究活動の状況
心臓病先進 治療学講座 { H23. 1. 1 ～H27. 12. 31 }	心臓病に合併する睡眠 時無呼吸症候群の診療 体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 心臓病領域における睡眠時無呼吸症候群（SAS）の診断法、治療法、診療体制構築の研究 心臓病患者の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング法の検討 睡眠時無呼吸症候群に対する陽圧治療デバイスの効果に関する検討 患者支援体制システム・ネットワークの検討
慢性腎臓病 (CKD) 病態 治療学講座 { H24. 4. 1 ～H27. 3. 31 }	慢性腎臓病（CKD）の 集約的治療法の開発と 地域医療連携システム の構築	<ul style="list-style-type: none"> CKD の病態解析 CKD とその合併症に有効な集約的治療法の検討 県内 CKD 患者の登録システムの構築 CKD 関連の公的班研究への参画 一般・医療関係者に対する CKD の啓発
周産期・小児 地域医療 支援講座 { H24. 4. 1 ～H27. 3. 31 }	周産期・小児医療支援 システムの構築と地域 密着型後期研修プログ ラムの研究及び開発	<ul style="list-style-type: none"> 須賀川地方の周産期・小児医療に関する医療統計 小児科及び産婦人科医療の受療動向の調査 診療応援、小児科及び産婦人科医師育成のための地域密着型研修プログラムの研究及び開発
災害医療 支援講座 { H24. 4. 1 ～H28. 3. 31 }	災害医療に関する研 究、被災地の医療ニー ズの研究	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の医療に対する住民のニーズ及び受療動向に関する調査 被災地の医療機関に対する診療応援
不整脈先端 治療学講座 { H25. 1. 1 ～H27. 12. 31 }	不整脈の最先端診療体 制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 植え込み型デバイスによる心臓病の管理法の確立 テーラーメイドのカテーテルアブレーション法の開発 致死性不整脈、心臓突然死のリスク層別化指標の確立
腫瘍生体 エレクトロ ニクス講座 { H25. 1. 1 ～H27. 12. 31 }	がん患者の免疫化学療 法及び関連する生体計 測に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍生体治療分野：癌患者における免疫学的検討、栄養学的評価等に関する継続的研究 エレクトロニクス分野：生体計測（測定センサー等）とその組み込み機構をマイクロメカニカル技術で構築する手法

地域救急医療 支援講座 { H25. 5. 1 ~H30. 3. 31 }	地域救急医療体制の基 盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市における救急医療に対するニーズ及び受療動向に関するデータの収集及び分析 ・福島市病院において、研修医に対する救急医療の実地研修プログラムの研究、職員に対する救急医療教育に関する研究、救急医療体制に関する教育・研究 ・一次・二次・三次救急の系統的な教育・研修プログラムの構築
地域産婦人科 支援講座 { H26. 1. 1 ~H30. 12. 31 }	産婦人科分野における 腫瘍及び若年発症の感 染症に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき地域における子宮頸がんの予防に向けた実態調査 ・婦人科分野における腫瘍に関する研究 卵巣癌の早期発見を目標とするマーカーの研究 ・婦人科分野における腫瘍に関する研究 卵巣癌腹水中の腫瘍細胞を用いた抗癌剤感受性試験
多能性幹細胞 研究講座 { H26. 8. 1 ~H29. 3. 31 }	疾患特異的万能細胞の 樹立・治療薬探索・抗 体作製に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・難治性疾患のヒト iPS 細胞の樹立 ・ヒト iPS 細胞の高効率分化誘導法の確立 ・難治性疾患の in vitro 定量的病態解析 ・難治性疾患に対する創薬
先端がん免疫 治療学講座 { H26. 11. 1 ~H29. 10. 31 }	がん免疫細胞治療法の 臨床応用研究および臨 床家の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・樹状細胞ワクチン療法を含む癌免疫療法の臨床的な有効性の検討 ・新規がん免疫細胞治療安全性の検討 ・がん免疫細胞治療を用いた集学的がん治療医の育成

2 研究活動の評価について

各寄附講座の研究活動報告（自己評価）を基礎として、寄附者及び寄附講座アドバイザー等の意見・評価を踏まえ、研究活動の評価を取りまとめました。

寄附者及び寄附講座アドバイザー等からは、全般的に、設置計画等に沿って適切に研究活動が展開されているなど、概ね肯定的な意見をいただいたほか、関連する医療機器等の開発、製造について、本県産業の振興という観点も考慮するよう助言もありました。

(1) 評価者

- ア 寄附者・・・・・・・・・・・・・回答数21／全寄附者数32
- イ 寄附講座アドバイザー・・・・学外有識者3名
- ウ 研究推進戦略室・・・・・・・・・・室長等3名

(2) 各寄附講座の評価結果

寄附講座	評価	主な意見
心臓病先進治療学講座	S	<ul style="list-style-type: none"> 論文や学会での発表等で、予想以上の成果をあげている。 24時間心電図を用いたSDBのスクリーニング法の実用化や睡眠呼吸障害の研究では着実に多くの知見を得ており、計画を実施できている。
慢性腎臓病（CKD）病態治療学講座	S	<ul style="list-style-type: none"> 研究活動の他、県民への疾患啓蒙活動が展開されており、当初の期待以上の成果を上げている。 CKD全体として多くの成果を上げている。「あいずじげん健康ポイント倶楽部」「低カリウムレタス」事業などは地域産業との連携を図り、国の競争的資金も獲得している。 様々なチャンネルと連携した活動がなされており、特に地域の商店街や県内企業と連携がなされるなど、取組みに大いに工夫がみられる。 本疾患が生活習慣病と密接に関連しているため、市民を対象とするCKDの啓発活動は特に評価される。
周産期・小児地域医療支援講座	A	<ul style="list-style-type: none"> 寄附講座の研究活動に即した取り組みがなされ、須賀川市及び周辺地域における周産期・小児医療の実態と問題点が明確になるとともに、基幹病院の役割の重要性を再認識した。 須賀川地区のデータ収集と傾向分析が着実になされている。研修プログラムとしても後期研修医への研修がなされている。 診療支援とともに医療の質の向上に貢献している。
災害医療支援講座	A	<ul style="list-style-type: none"> 積極的かつ継続的な医療支援が実施されている。 医療の支援対象地域を全県内に広げ、研究活動を展開しており、期待以上の効果を上げているものと認める。 福島県内の地域医療、災害医療というテーマに対し、研究やデータ分析など多岐に渡る活動は期待以上である。 福島県内の地域医療向上のために必要な研究が進められている。 被災地での医療支援活動は地道になされている。 相双地区における医師確保、医療の充実に大いに貢献している。
不整脈先端治療学講座	A	<ul style="list-style-type: none"> 寄附目的である総合的不整脈治療における革新的新医療の普及活動がなされている。 寄附目的に沿った適切な研究活動が展開されているものとする。 適切な研究活動であり、期待通りの研究成果を上げていると思われる。
腫瘍生体エレクトロニクス講座	A	<ul style="list-style-type: none"> 寄付目的に沿った研究活動が適切に行われ、研究期間に見合った研究実績を上げている。 研究成果における非常に精力的な学会発表が実施されており、今後の論文化等の更なる学術研究の発展が期待される。
地域救急医療支援講座	A	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療支援活動として、福島市でのACLS講習会は着実に実施されている。 寄附目的に沿った適切な研究活動が展開されており、期待どおりの研究成果を上げている。

地域産婦人科 支援講座	A	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附目的に沿った研究活動が展開されているとともに、産婦人科診療体制が強化されており、期待どおりの成果を上げている。 ・子宮頸癌の調査、講演、性感染症キャンペーンなど着実な活動を実施している。 ・地域での産婦人科診療に貢献している。
多能性幹細胞 研究講座	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学内研究承認、細胞培養設備等、着実な準備を行っている。 ・寄付目的に沿った研究活動が適切に行われ、研究期間に見合った研究実績を上げているものとする。
先端がん免疫 治療学講座	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の開始（ワーキンググループ・樹状細胞等）と着実な準備が行われた。 ・寄附目的に沿った適切な活動が展開されており、期待どおりの成果を上げているものと認められる。

【注】評価 ※（ ）は進捗状況・達成状況のイメージ

- | |
|---|
| <p>S・・・優れている。(計画の100~120%程度)</p> <p>A・・・評価できる。適切である。(計画の80~100%程度)</p> <p>B・・・やや改善を要する。(計画の60~80%程度)</p> <p>C・・・改善を要する。計画を実施できていない。(計画の60%未満)</p> |
|---|

3 助言等について

各寄附講座の研究活動を推進するとともに、より効果的な成果を上げられるよう、寄附者及び寄附講座アドバイザー等から以下のような助言等がありました。

(1) 助言等の概要

- ① 研究活動に関連する医療機器等の開発・製造については、本県の医療機器関連産業の振興の観点から、県内企業との連携・活用について留意するよう助言がありました。

【心臓病、不整脈、腫瘍生体】

- ② 臨床データを活用した研究が永続して推進していけるよう期待しているとの意見がありました。

【周産期・小児、災害医療、地域救急、地域産婦】

(2) 各寄附講座における助言等への対応について

助言等への対応について、各寄附講座より以下のような報告がありました。

- ① 関連する福島県内医療機器メーカーとも連携し、本県産業の振興に寄与する、また既に連携を進めている報告もありました。

- ② 実態調査を継続し、医療ニーズおよび基幹病院との連絡調整に基づいた研究を推進するよう努めたいとの報告がありました。